



万国津梁の一つの理由

(3月のごあいさつ)

平成25年3月1日(金)

沖縄は3月の声を聞くと初夏を感じる日が多くなります。

日本人、特に男性は少し威張るね、と中国人の友だちから言われたことがある。彼女は上海で働いていてもう20年近くになる。沖縄へ留学した後、日系の上海家電メーカーの社長秘書、米国系の保険会社などを経て、日本の建設関係の子会社の副総経理(副社長)をしている。

他の中国の人たちからもそんな話はよく聞く。**威張ることは、体罰**などと同様、日本の古き悪しき習慣のような気がする。

しかし一方、英語を習っているオーストラリア人の宣教師の方からは、こんな話も聞いた。日本人の男性は、給料を奥さんに全部渡しているので、家庭で威張らざるを得ないし、上司となった時は、仕事の厳しさを教えるので、職場や外国で威張ることも多いのではないかという。また、財布に多く持っていないので奥さんにサービスしたりプレゼントすることも少ない。だから、全面的に悪いとも言えないという。しかし、**傲慢**はキリスト教の**最悪の不徳**で、これにくらべたら、不貞とか怒り、貪欲、酩酊とかいったものは、ノミに食われた程度のささいなことで、日本人が威張るのは傲慢ではないというのである。

彼は自転車で布教しながら、もう日本では5年位活動をしている。まだ20年代だが、人格の高さは素晴らしく、高潔で信仰に篤く、神の言葉を語る時、理路整然として説得力がある。私は**無神論者**であるが、「**根源的諸徳**」や「**神学的諸徳**」の価値は認めるし、神は「ハトのように素直であれ」とばかりでなく、「へびのように賢くあれ」と言われていることは当然だと思う。また、「働かざる者は食うべからず」とか、「おせっかいな人間を憎む」などの点は、全面的に同意である。ただ、神の話は、「**怪力乱神は之を語らず**」という**孔子の言葉**からは外れていると思うし、論争することも多い。

400年余り前の沖縄が、**万国津梁**と言って世界に活躍できたのは以上のことと関係があるということを使う人がいる。**沖縄の人は威張らない**。昔から威張らないというのは、商売の秘訣である。その上、**テーゲー(だいたい)**だから、中国やルソンやタイ国などの錚錚たる国々と交易が出来たのだ。これが万国津梁のキーポイント、これは今後も真実だと思う。こんな話をしたら、琉大大学院の牛窪先生と野口先生が、「山内さん、そのことを徹底的に研究したら大したものだよ」と言われたが、勿論お酒を飲んでの話である。

でも、沖縄の将来に、根本的な展望があるような気がして少し楽しくなった。